

令和 5 年度

湖 西 市 教 育 委 員 会

自己点検・評価報告書

令和 6 年 1 2 月

湖西市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 令和5年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開	2
教育委員会組織	3
各課の仕事の概要	4
決算の概要	5
II 令和5年度 湖西市教育委員会の活動等における 点検・評価の概要	6
1 教育委員会の活動	6
2 教育委員会の審議案件	6
3 事業の概要	7
4 事務事業評価の概要	8
III 外部評価委員の意見	40
IV 総合評価	

はじめに

本市教育委員会においては、今後の教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、市の最上位計画である第6次湖西市総合計画「ひと・自然・業（わざ）」がつながり未来へ続く「わがまちKOSAI」における教育部門の計画として「第2次湖西市教育振興基本計画（2021年～2025年）」を策定した。

この計画は、『未来の湖西を創る“ひと”づくり』を基本理念とし、その理念に基づき「幼児・学校教育」・「生涯学習」・「生涯スポーツ」の3つの分野において基本目標を掲げ方針を明記し、諸事業の具現化を図り、学校教育及び生涯学習の充実をはじめ、教育環境の整備を推進する指標である。

令和5年度においても、本計画に基づき、教育委員会各課において諸事業に取り組み、その取組状況については、実績等の概要を取りまとめ、「事務事業評価」、「主要施策成果の説明書」として報告している。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められている。

そのため、本市教育委員会の令和5年度の活動及び施策に関する自己点検及び評価を実施し、報告書としてまとめる。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

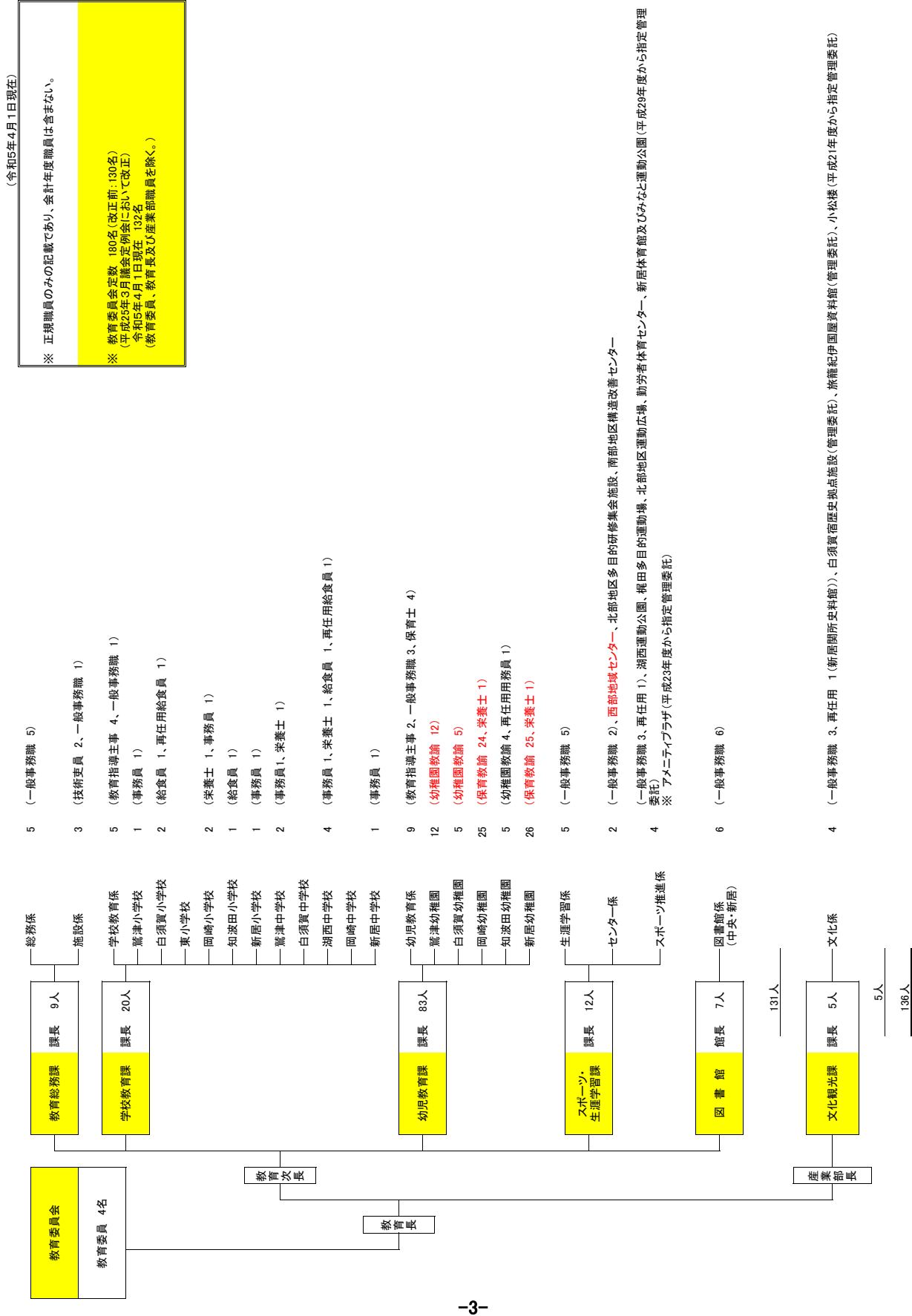
令和5年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開

【 基本理念 】		【 目 標 】	
基本目標1 「幼児・学校教育」	基本目標2 「生涯学習」	基本目標1「幼児・学校教育」 自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します	
		基本目標2「生涯学習」 生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	
		基本目標3「生涯スポーツ」 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	
基本目標3 「生涯スポーツ」	基本目標4 「生涯スポーツ」		

基本目標		方 針	
基本目標 1 「幼児・学校教育」 自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します	
	2	質の高い学習環境を整備します	
	3	時代に対応した教育行政を推進します	
	4	基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます	
	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます	
	6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます	
	7	保育環境の充実に努めます	
	8	魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます	
	9	学習基盤の充実に努めます	
	10	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます	
	11	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます	
	12	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します	
	13	地域とともに歩む学校づくりを推進します	
	14	家庭教育を支援します	
	15	地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります	
	16	青少年健全育成意識を醸成します	
	17	さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します	
	18	市民が集い結びあうセンター活動に努めます	
	19	安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》	
	20	文化財を保存活用します	
	21	文化芸術を推進します	
	22	情報拠点としての運営に努めます	
	23	読書活動を推進します	
	24	スポーツ活動を普及・推進します	
	25	スポーツ環境を整備します	

基本目標2 「生涯学習」	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくりま す	
基本目標3 「生涯スポーツ」	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親 しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推 進します。	

教 育 委 員 会 組 織 (令 和 5 年 度)



令和５年度 各課の仕事の概要

部	課 名	係 名	仕 事 の 概 要	
教 育 委 員 会 事 務 局	教 育 総 務 課	総 務 係	公印の管守。教育委員会の招集、提出議案調整、議決事件処理。規則、規程などの公布。職員の人事、服務、給与、福利厚生。教材、教具の整備。豊田佐吉翁記念奨学金事業。育英奨学資金貸付事業。学校給食。総合教育会議。放課後児童健全育成事業。	
		施 設 係	学校等の財産の取得、処分。学校等の施設の整備、修繕、建設。施設整備に係る調査。学校等の施設の保守管理。	
	学 校 教 育 課	学 校 教 育 係	通学区。学籍。学級編制。教科書無償給与。学校経営の指導。教職員の服務・研修。教育課程。学校給食（指導）。学校保健及び安全。就学支援。特別支援教育。教育相談。生徒指導。転入学。	
	幼 児 教 育 課	幼 児 教 育 係	子ども・子育て支援制度に関すること。幼稚園・保育園・こども園に関する事務（入・退園を含む）。園経営の指導。教職員の服務・研修。保育・教育課程。	
	ス ポ ー ツ ・ 生 涯 学 習 課	生 涯 学 習 係	社会教育の企画。幼児・青少年・家庭・成人・高齢者教育の振興。地域社会教育の振興。青少年リーダーの育成。はたちの集い。生涯学習の推進。青少年育成センターの運営。	
		セ ン タ ー 係	西部地域センター、北部・南部構造改善施設の維持管理。講座の開催。センターまつりの開催。図書室業務。	
		ス ポ ー ツ 推 進 係	社会体育の企画推進。社会体育施設・学校体育施設開放の維持管理、運営。アメニティプラザ・湖西運動公園他５施設の監督管理。	
	図 書 館	図 書 館 係	図書館の維持管理。図書館業務。読書活動の推進。	中央図書館
				新居図書館
産 業 部	文 化 観 光 課	文 化 係	芸術文化の振興。白須賀宿歴史拠点施設の運営・維持管理。文化財保護。新居関所史料館の運営・維持管理。新居宿旅籠紀伊国屋資料館の運営・維持管理。新居関所跡の保存・整備。小松楼まちづくり交流館の運営・維持管理。	

皆さんに納めていただいた税金の使い道 令和5年度決算

問い合わせ先 財政課

TEL.053-576-1112

FAX.053-576-1115

皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのか、令和5年度の決算の状況をお知らせします。
詳しくはウェブサイトからもご覧いただけます▶



令和5年度決算概要

一般会計

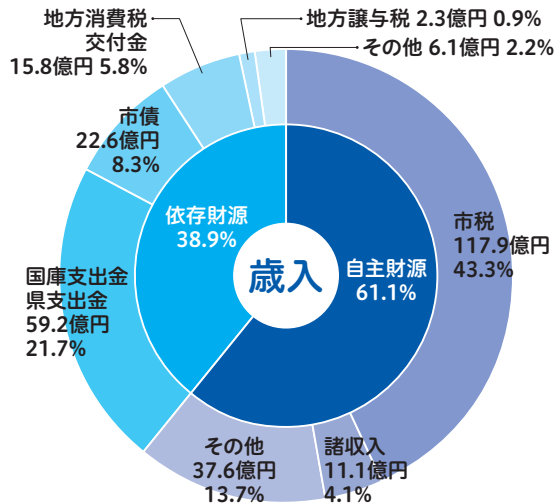
歳入 普通交付税の不交付団体となったこと、市税が減少したことから減収となりました。

歳出 物価高騰の影響を受けた市民や事業者への支援を行い、また、第2子保育料無償化や産前産後ケアの充実など子育て世帯への支援を拡充し、バッテリーロード・バッテリーパークの整備、新居弁天公園の再整備、環境センター焼却再稼働事業を行うなど、「職住近接」による持続可能な発展に向けた施策を着実に推進しました。

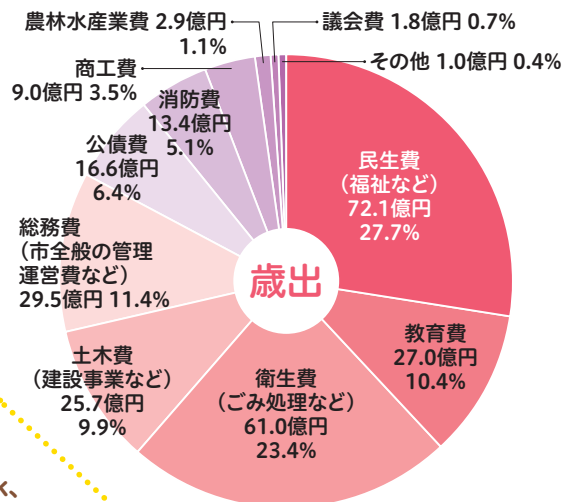
■各会計決算総括表(単位：億円)

会計	区分	歳入		歳出	差し引き (A - B)
		金額(A)	うち一般会計からの繰入金	金額(B)	
一般会計		272.6		260.0	12.6
特別会計	国民健康保険事業	55.6	3.1	53.3	2.3
	介護保険事業	44.6	6.2	41.6	3.0
	後期高齢者医療事業	8.3	1.5	8.3	0.0
企業会計	公共下水道事業	23.8	6.1	26.6	▲2.8
	水道事業	13.6	0.0	15.9	▲2.3
	病院事業	33.1	8.8	33.4	▲0.3
合 計		451.6	25.7	439.1	12.5

■歳入決算額 272.6億円(前年度比2.7%減)



■歳出決算額 260.0億円(前年度比1.1%増)



歳出の主な使い道

■環境センターごみ焼却施設再稼働事業



■KOSAI Battery Park、バッテリーロード整備事業



■新居弁天公園の再整備



■産前産後ケアの充実



■第2子以降の保育料の無償化



■物価高騰の影響を受けた市民、事業者への支援

■新たな「地域子育て支援拠点」の整備

Ⅱ 令和５年度 湖西市教育委員会の活動等における点検・評価の概要

１ 教育委員会の活動

本市教育委員会を年12回開催し、規則等の制定及び改廃、予算その他の議会の議決に付すべき事件案に関する意見聴取、付属機関の委員の委任又は任命に関すること等について慎重に審議した。

教育委員研修については、定例会開催ごとに委員協議会を開催し、情報の提供と意見交換に努めるとともに、教育委員会を学校等の教育施設を会場に開催し、合わせて市内教育現場の視察を実施するなど、本市教育行政の実情把握と認識を深めた。

総合教育会議は、平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設けると定められた。本年度の総合教育会議では、「教育ＤＸの現状進捗と今後」について市長と意見交換した。

２ 教育委員会の審議案件

教育委員会が管理・執行する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条に規定されている次に示す19項目の事務である。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教員その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。

- (10)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11)学校給食に関すること。
- (12)青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13)スポーツに関すること。
- (14)文化財の保護に関すること。
- (15)ユネスコ活動に関すること。
- (16)教育に関する法人に関すること。
- (17)教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18)所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19)前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

上記に基づき、規則等の制定及び改廃に関すること19件、予算その他議会の議決に関すること7件、職員（教職員）の人事に関すること2件、付属機関等の委員を任命または委嘱すること21件、その他自己点検・評価報告書の作成及び議会提出に関することなど6件、合わせて55件の議案について慎重に審議し、すべての案件について決定及び承認した。

3 事業の概要

令和5年度は、湖西市教育振興基本計画に掲げる教育委員会の基本理念である『未来の湖西を創る“ひと”づくり』において定めた基本目標と方針により、事業展開を行った。

各項目ごとの主な事業は次のとおりである。

資料編P.1からP.5 児童福祉費については、放課後児童クラブの運営、民間保育所等への運営費の支出及び事業等への助成、旧公立保育園の管理を行った。

P.6からP.13上段 教育総務費については、教育委員会の運営、会計年度任用職員の雇用、教育指導関係事業等を行った。

P.13下段からP.22上段 小学校費・中学校費・幼稚園費については、教育環境の整備として、新居小学校北校舎トイレ改修工事や鷺津中学校長寿命化改修工事など、各施設の維持・管理、修繕を行った。

P.22下段からP.31 社会教育費については、社会教育諸事業の推進に際し、関係諸団体はじめ、多くの市民の協力や参加をいただき、社会教育の推進及び青少年健全育成活動の促進、文化財の保護・保存・整備等に努めた。

P.32からP.34上段 図書館費については、図書館活動にかかる各種の事業や施設の修繕を実施し、図書館機能の充実を図った。

P.34下段からP.39 保健体育費については、体育施設の維持管理及びスポーツ教室の開催等により、市民スポーツ団体の育成や市民スポーツ活動の推進に努めた。

4 事務事業評価の概要

教育委員会の各課、館の主要事業について、事業ごとに評価の概要をまとめた。

湖西市教育振興基本計画の目標・方針

基本目標		番号	方針
基本目標 1 「幼児 学校 教育」	自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します
		2	質の高い学習環境を整備します
		3	時代に対応した教育行政を推進します
		4	基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます
		5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます
		6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます
		7	保育環境の充実に努めます
		8	魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
		9	学習基盤の充実に努めます
		10	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます
		11	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます
		12	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します
		13	地域とともに歩む学校づくりを推進します
基本目標 2 「生涯 学習」	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	14	家庭教育を支援します
		15	地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります
		16	青少年健全育成意識を醸成します
		17	さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します
		18	市民が集い結びあうセンター活動に努めます
		19	安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》
		20	文化財を保存活用します
		21	文化芸術を推進します
		22	情報拠点としての運営に努めます
		23	読書活動を推進します
基本目標 3 「生涯 スポーツ」	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	24	スポーツ活動を普及・推進します
		25	スポーツ環境を整備します

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、湖西市では本シートを用いて令和5年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。	マトリックスの見方		↑ 実現度	A			★
	実現度	重要度		B			☆
	A…目標達成	A…非常に重要		C			
	B…概ね目標達成	B…重要		★5年度	C	B	A
	C…目標達成できない	C…やや低い	★4年度	重要度→			

各事業の目標・方針は教育振興基本計画に基づく

[教育総務課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
10	放課後児童健全育成事業費	A	A	
10	公立保育所施設管理運営費	A	A	
11	教育委員会関係経費	A	A	
11	事務局関係経費	A	A	
11	豊田佐吉翁記念奨学金事業費	A	B	
12	育英奨学資金貸付事業費	B	B	
12	学校給食推進事業費	A	A	
12	教育施設整備費	A	A	
13	教育施設管理費	A	A	
13	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費	A	A	
13	各小学校教育振興費	A	B	
14	教育扶助費（小学校）	A	A	
14	小学校施設整備費	A	A	
14	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費	A	A	
15	各中学校教育振興費	A	B	
15	教育扶助費（中学校）	A	A	
15	一般諸経費（中学校部活動費交付金）	B	A	
16	中学校施設整備費	A	A	
16	幼稚園・こども園施設管理運営費	A	A	

事業名		放課後児童健全育成事業費			資料編	1頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます		
概要	子育て支援事業として、昼間保護者等がいない小学校の児童に対して、小学校の空き教室等を利用し、放課後に遊びや生活の場を与え、保育を委託により実施。					
5年度目標	運営に従事する支援員等の知識・技術の習得並びに児童に安全安心な居場所を提供するため、単位ごとに1名以上、資質向上のため研修を受講する。					
5年度実績等	◇12クラブ16単位による運営。 ◇資質向上研修受講者18名					
4年度実績等	◇9クラブ13単位による運営。 ◇資質向上研修受講者11名					
課題及び今後の取り組み	令和4年度中に岡崎小学校敷地内に放課後児童クラブ専用施設を創設、民間事業者の参入もあり、令和5年4月から定員増。令和5年度中は新居小学校敷地内に放課後児童クラブ専用施設を創設し、子育て支援センターからの移設及び定員拡大を図った。 【課題】 ・事業の民間委託に伴う事業費増及び保護者負担額の設定 【今後の取り組み】 ・長期休暇中のみの利用ニーズに対応するため、長期休暇期間中の一時的なクラブ開設を行う。	評価	↑ 実現度	A B C	重要度→ ☆R5 ★R4	★★
事業名		公立保育所施設管理運営費			資料編	5頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	閉園した保育園の解体工事等施設整備を行う。					
5年度目標	旧内山保育園解体工事の実施。					
5年度実績等	◇旧内山保育園解体工事 38,247千円 7月に工事を開始し、1月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行った。					
4年度実績等	事業なし					
課題及び今後の取り組み	公共施設再配置計画に基づき、閉園した新居保育園、鷺津保育園の解体工事を行う。	評価	↑ 実現度	A B C	重要度→ ☆R5 ★R4	☆

事業名		教育委員会関係経費			資料編	6頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	学校及び、その他の教育機関の職員の身分取扱、その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営を定める会議を定例・臨時に開催する。					
5年度目標	教育委員会の開催回数12回					
5年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会1回 ◇教育委員研修会等への出席、三遠南信教育サミット（飯田市）への出席 ◇総合教育会議の開催 1回					
4年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会0回 ◇教育委員研修会等への出席（オンライン開催）、三遠南信教育サミット（浜松市）への出席 ◇総合教育会議の開催 1回					
課題及び今後の取り組み	教育委員会の会議録や活動内容の積極的な情報公開を図り開かれた委員会を目指す。 総合教育会議は、市長と教育の課題などについて情報を共有し、継続的に意見交換を行って教育施策に反映させる。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4	
事業名		事務局関係経費			資料編	7頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	教育行政の推進を図るため、教育長等の各種研修会や協議会への出席。市内各小学校・中学校の会計年度任用職員を雇用し、教育行政の円滑な運営を図る。					
5年度目標	会計年度任用職員の雇用人数34人					
5年度実績等	◇会計年度任用職員の雇用を34人、延べ41人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。					
4年度実績等	◇会計年度任用職員の雇用を33人、延べ34人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。					
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員、特に給食員の雇用確保が難しい状況にある。そのため令和8年度末までに整備が予定されている学校給食センターも視野に入れ、給食調理業務の委託校を拡大することにより、令和6年度から直接雇用の給食員の削減を図る。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4	
事業名		豊田佐吉翁記念奨学金事業費			資料編	8頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、豊田佐吉翁記念奨学基金の運用益等により、奨学援助を行い社会に有用な人材を育成する。					
5年度目標	奨学金の給付人数13人					
5年度実績等	◇大学生6人、高校生1人に奨学金924千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月26日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会に5名参加、現役とOB・OGとの意見交換会に14名参加 8月2日					
4年度実績等	◇大学生8人、高校生1人に奨学金1,212千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会の実施（湖西市妙立寺） 8月5日 7名参加					
課題及び今後の取り組み	利率の低迷により運用益だけでの運営ができない状況である。今後の奨学基金の運用について検討する。 奨学生が減っていることから、周知方法や交付額について検討する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4	

事業名		育英奨学資金貸付事業費			資料編	8頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、無利子で奨学資金の貸付けを行い、社会に有用な人材を育成する。					
5年度目標	貸付人数4人					
5年度実績等	◇貸付人数 3人。継続大学生3人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)					
4年度実績等	◇貸付人数 3人。新規大学生1人、継続大学生2人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)					
課題及び今後の取り組み	給付型の奨学金を求める家庭が多い傾向にある。貸付型の奨学金への新規応募者が減少している現状を踏まえ、制度の見直しや市民への周知について検討が必要である。令和2年度から選考基準を、部活動や学校活動等で実績がある者についても選考対象とするように変更した。 新規応募者の状況 R1 1人、R2 2人、R3 1人、R4 0人、R5 0人 (選考年度)	評価	↑ 実現度	A		
				B	★☆	
				C	B	A
				重要度→ ☆R5 ★R4		
事業名		学校給食推進事業費			資料編	12頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します			
概要	各小学校・中学校における給食業務の衛生管理を徹底し、安定した給食を提供する。					
5年度目標	保菌・食品検査の実施率100%					
5年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託 ◇学校給食費等物価高騰対策として、全小中学校の学校給食会計へ給食費の物価高騰分を補助した。					
4年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託 ◇学校給食費等物価高騰対策として、全小中学校の学校給食会計へ給食費の物価高騰分を補助した。					
課題及び今後の取り組み	物価高騰が続くため今後の1食単価について検討する。	評価	↑ 実現度	A		★☆
				B		
				C	B	A
				重要度→ ☆R5 ★R4		
事業名		教育施設整備費			資料編	12頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します			
概要	小中学校等の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。学校給食施設を、学校給食施設整備基本計画に基づき、令和8年度までに整備する。					
5年度目標	湖西市学校給食センター整備・運営事業 募集要項等の公表を行い、選定・契約業務を実施。					
5年度実績等	◇令和5年5月に募集要項等の公表を行った。 その他、事業者との直接対話を1回及び募集要項等に関する質問への回答を2回実施。 ◇公募不調により、再募集に向けて令和5年11月に実施方針等の公表、令和6年2月に募集要項等の公表を行った。 その他、不調による事業者とのヒアリング及び事業者との直接対話を1回実施。					
4年度実績等	◇令和4年12月に実施方針等の公表を行った。 その他、事業者との直接対話及び実施方針等に関する質問への回答を実施。 ◇建設地における地質調査・測量業務等を予定通り実施。					
課題及び今後の取り組み	特定事業の選定、募集要項等の公表、事業者との直接対話及び募集要項等に関する質問への回答を行い、事業者の選定を実施していく。	評価	↑ 実現度	A		★☆
				B		
				C	B	A
				重要度→ ☆R5 ★R4		

事業名		教育施設管理費			資料編	13頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	こども園2園、幼稚園3園、小学校6校、中学校5校の施設維持					
5年度目標	教育施設内での修繕件数81件					
5年度実績等	◇5園11校で79件の修繕を行った。					
4年度実績等	◇5園11校で81件の修繕を行った。					
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、大規模修繕は各幼稚園・小中学校の要望には充分な対応ができていない。計画的な修繕を進めるため、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A	重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費			資料編	13頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2	質の高い学習環境を整備します		
概要	小学校教育及び児童の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、小学校施設の適切な管理運営を行う。					
5年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%					
5年度実績等	◇湖西市全小学生2,770人（令和5年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計192,175千円（69,377円/人）を執行した。 ◇教育DXの取り組みとして、学校・保護者間連絡アプリを導入を行った。 ◇点検実施率100%					
4年度実績等	◇湖西市全小学生2,881人（令和4年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計173,704千円（60,293円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、ICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%					
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A	重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		各小学校教育振興費			資料編	15頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2	質の高い学習環境を整備します		
概要	小学校教育の振興を図るため、必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し教育振興の充実を図る。					
5年度目標	購入図書冊数の前年度比100%					
5年度実績等	◇湖西市全小学生2,770人（令和5年5月1日現在） ◇各小学校計で8,925千円（3,222円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で574冊の図書を購入。前年度比82.4%。					
4年度実績等	◇湖西市全小学生2,881人（令和4年5月1日現在） ◇各小学校計で8,221千円（2,854円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で697冊の図書を購入。前年度比123.4%。					
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各小学校の要望には充分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A	重要度→ ☆R5 ★R4

事業名		教育扶助費（小学校）		資料編	15頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	小学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学困難な児童の保護者・特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、必要な学用品・通学用品費等を援助する。				
5年度目標	援助の支給人数161人				
5年度実績等	◇就学援助費補助として54人に3,736千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として134人に5,208千円補助した。				
4年度実績等	◇就学援助費補助として57人に3,272千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として138人に5,023千円補助した。				
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内小学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		小学校施設整備費		資料編	16頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	小学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
5年度目標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行における達成率100%				
5年度実績等	◇新居小学校北校舎他トイレ改修工事 45,507千円 8月に工事を開始し、12月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇新居小学校北棟西校舎屋上防水事業 14,117千円 9月に工事を開始し、12月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇鷺津小学校配膳室冷暖房設備取替工事 6,435千円 4月に工事を開始し、6月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
4年度実績等	◇岡崎小学校トイレ改修工事 80,575千円 8月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎小学校南校舎特別支援教室改修工事 3,874千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と学校施設長寿命化計画に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費		資料編	17頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	中学校生徒の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、燃料費、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、中学校施設の適切な管理運営を行う。				
5年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
5年度実績等	◇湖西市全中学生1,501人（令和5年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計161,611千円（107,669円/人）を執行した。 ◇教育DXの取り組みとして、学校・保護者間連絡アプリを導入を行った。 ◇点検実施率100%				
4年度実績等	◇湖西市全中学生1,522人（令和4年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計151,455千円（99,511円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、ICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%				
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4

事業名		各中学校教育振興費			資料編	18頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します			
概要	中学校における中等普通教育に必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し、教育振興の整備充実を図る。					
5年度目標	購入図書冊数の前年度比100%					
5年度実績等	◇湖西市全中学生1,501人（令和5年5月1日現在） ◇各中学校計で9,939千円（6,622円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で742冊の図書を購入。前年度比70.9%。					
4年度実績等	◇湖西市全中学生1,522人（令和4年5月1日現在） ◇各中学校計で10,293千円（6,763円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で1,046冊の図書を購入。前年度比135.7%。					
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各中学校の要望には充分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A 重要度→ ★R5 ★R4	
事業名		教育扶助費（中学校）			資料編	19頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	中学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学に必要な学用品・通学用品費等を補助する。					
5年度目標	支給人数75人					
5年度実績等	◇就学援助費補助として32人に3,242千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として49人に2,671千円補助した。					
4年度実績等	◇就学援助費補助として42人に3,565千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として46人に2,440千円補助した。					
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内中学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A 重要度→ ★R5 ★R4	
事業名		一般諸経費（中学校部活動費交付金）			資料編	19頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します			
概要	中学校の部活動を育成し、生徒の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。					
5年度目標	交付金交付のクラブ件数53クラブ					
5年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,392人に計3,858千円を交付した。					
4年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,453人に計3,940千円を交付した。					
課題及び今後の取り組み	全国大会参加時は交通費・宿泊費の1/2以内の交付であり、全額負担ではないので生徒の保護者負担が発生する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A 重要度→ ★R5 ★R4	

事業名		中学校施設整備費			資料編	20頁									
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します											
概要	中学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。														
5年度目標	工事中における生徒の安全確保と学校業務の円滑な進行における達成率100%														
5年度実績等	◇新居中学校体育館天井等落下防止対策工事 69,971千円 7月に工事を開始し、1月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇鷺津中学校中学校舎長寿命化改修事業 252,697千円 9月に工事を開始し、安全・円滑に施工を行い、令和5年度分を100%完了した。工期は令和6年11月まで。														
4年度実績等	◇岡崎中学校武道場天井等落下防止対策事業 26,730千円 11月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎中学校南校舎特別支援教室改修工事 1,279千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。														
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、生徒の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と学校施設長寿命化計画に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆R5 ★R4	A		★☆☆	B			C	B	A
A		★☆☆													
B															
C	B	A													
事業名		幼稚園・こども園施設管理運営費			資料編	20頁									
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します											
概要	幼稚園・こども園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。														
5年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%														
5年度実績等	◇幼稚園3園及びこども園2園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%														
4年度実績等	◇4園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%														
課題及び今後の取り組み	幼稚園（2園）及びこども園（2園）の施設管理を適正に行っていく。 保守点検等での指摘事項を確認し、早急に修繕を実施する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆R5 ★R4	A		★☆☆	B			C	B	A
A		★☆☆													
B															
C	B	A													

[学校教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
18	教育指導関係経費（教育指導関係事業）	A	B	
19	学校保健衛生費	A	A	
19	指導資料作成事業費	A	A	
20	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）	A	A	

事業名		教育指導関係経費（教育指導関係事業）		資料編	8・9頁										
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	11 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます												
概要	各小学校・中学校での学校教育の充実を図るため、教育指導に関わる諸事業を推進する。														
令和5年度 目 標	就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数35回 生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒の出席率 50% 語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員32人配置 いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施														
令和5年度 実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数56回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数41回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 44% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員32人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施														
令和4年度 実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数33回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 42% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員32人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施														
課題及び 今後の 取り組み	支援を要する児童生徒数の増加傾向が続いているが、支援員の配置や巡回相談の実施によって的確な支援、対応ができるようになってきている。 外国籍児童生徒への対応として指導員や通訳員を派遣したり、翻訳機等を活用している。全ての学校に外国籍児童生徒が在籍しているため、指導員、支援員の配置計画を見直していく。 いじめ、不登校等、生徒指導上の課題に対し、生徒指導相談員やスクールロイヤー等、専門家・関係機関との連携し、未然防止、早期発見、早期対応をすすめる。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4	↑ 実現度	A			B		★☆☆	C	B	A
↑ 実現度	A														
	B		★☆☆												
	C	B	A												

事業名		学校保健衛生費		資料編	10頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	12	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します															
概要	学校保健安全法に基づき、児童生徒、園児及び教職員の健康保持増進のため定期健康診断やけが補償等への対応を行う。 また、法令の趣旨に従って、校医の配置、定期健康診断を実施する。																		
令和5年度目標	児童生徒・教職員の受診率 100%																		
令和5年度実績等	◇校医配置 学校内科医34人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診132人、指定年齢検診35人、胸部X線検査132人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																		
令和4年度実績等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診130人、指定年齢検診30人、胸部X線検査130人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																		
課題及び今後の取り組み	法に基づくものであり、適正に実施していることが肝要である。定期検診等に関しては、今後も学校保健会、医会と相談しながら、改善できるところは善処しながら進めていく。学校規模に対する学校医が不足している点について医会から指摘があり、令和5年度より1人増員している。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆R5 ★R4</td></tr></table>	↑ 実現度	A		★☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			
↑ 実現度	A		★☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R5 ★R4																			
事業名		指導資料作成事業費		資料編	10頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます															
概要	小学校社会科副読本「わたしたちの湖西」の指導資料作成作業																		
令和5年度目標	指導資料作成事業 副読本の活用率100%																		
令和5年度実績等	◇指導資料作成事業 ワークシートや評価テストの検討、作成																		
令和4年度実績等	◇指導資料作成事業 ワークシートや評価テストの検討、作成																		
課題及び今後の取り組み	令和5年度よりワークシートの検討・作成と平行し、本年度は令和7年度以降に使用する副読本の改訂に向けて取材や編集等をすすめている。改訂委員会の円滑な運営を図り、湖西の子どもたちにとって使いやすく、地域に根ざした副読本を完成させる。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆R5 ★R4</td></tr></table>	↑ 実現度	A		★☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			
↑ 実現度	A		★☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R5 ★R4																			

事業名		研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）		資料編	10頁										
基本目標		自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます											
概要		家庭教育の充実を目指す学びの基礎づくりや児童生徒や地域の実態に応じた活動、思い出となる行事など、特色ある学校づくりを推進し、地域、家庭と協力し、子どもの健やかな成長を図る。													
令和5年度目標		「特色ある学校づくり」推進事業 学校教育課事業評価において11校中A、Bと答える学校の割合100%													
令和5年度実績等		◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり） ◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり） ◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造） ◇「特色ある学校づくり」推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100%													
令和4年度実績等		◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり） ◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり） ◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）※コロナ感染症拡大防止のため未実施の学校あり 学校の授業がわかると答える児童の割合91.9%、生徒の割合84.2%													
課題及び今後の取り組み		「特色ある学校づくり」推進事業は、児童生徒と地域の実態に応じて豊かな体験をすることで、児童生徒の生きる力を育成することを目的に実施している。各校が本事業の目的を理解し、地域のひと・もの・ことに触れ、自分の見方・考え方を広げる機会となってきた。総合的な学習や体験学習の講師を依頼したり、キャリア教育やスキー教室のためにバスを貸し切ったりと各校で有効に活用している。		評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td>☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4	↑ 実現度	A		☆	B		★	C	B	A
↑ 実現度	A		☆												
	B		★												
	C	B	A												

[幼児教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
22	民間保育所等助成事業費	A	A	
23	幼児教育指導関係経費	A	A	
23	各幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費	A	B	

事業名		民間保育所等助成事業費		資料編	2～5頁								
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます									
概要	民間保育園・こども園等の適切な運営に扶助する（法定給付） 市内民間保育園・こども園の職員の処遇改善、施設の整備・改善及び保育サービスの充実のために補助する。												
令和5年度目標	待機児童数（4月1日現在） 0人 民間保育園及びこども園（保育部分）の年間平均入園児数 778人 民間幼稚園及びこども園（教育部分）の年間平均入園児数 125人 ※各市内利用定員数												
令和5年度実績等	◇待機児童数（令和5年4月1日現在） 0人												
	◇民間保育園・こども園(保育園部)・小規模保育事業所の年間平均入園児数 793人 ◇市内民間保育園等(10園)と広域入所保育園等(10園)の運営費として、施設型給付費910,183千円 ◇私立幼稚園・こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 141人 ◇市内民間こども園(4園)と広域入所幼稚園等(5園)の運営費として、施設型給付費159,862千円 ◇乳幼児保育事業の実施園 7園（多様な保育事業 42,408千円） ◇延長保育・一時預かり保育・病児保育等の実施園 9園（保育対策事業 41,841千円） ◇新設・改築等に係る借入金利子への補助 3園（民間保育園等施設整備事業 1,038千円） ◇原油価格・物価高騰に伴う食材料費への補助 10園（学校給食費等物価高騰対策事業 2,377千円） ◇保育サービスの安定的な提供の継続への補助 10園（価格高騰緊急支援事業 1,806千円） ◇子育てのための施設等利用等給付 9,289千円（補助実績：12施設、58人）												
令和4年度実績等	◇待機児童数（令和4年4月1日現在） 0人 ◇民間保育園・こども園(保育園部)・小規模保育事業所の年間平均入園児数 766人 ◇市内民間保育園等(10園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として、施設型給付費848,369千円 ◇民間こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 149人 ◇市内民間こども園(4園)と広域入所こども園(9園)の運営費として、施設型給付費154,847千円 ◇乳幼児保育事業の実施園 7園（多様な保育事業 41,179千円） ◇延長保育・一時預かり保育・病児保育等の実施園 10園（保育対策事業 64,258千円） ◇新設・改築等に係る借入金利子への補助 4園（民間保育園等施設整備事業 1,329千円） ◇原油価格・物価高騰に伴う食材料費への補助 9園（学校給食費等物価高騰対策事業 2,886千円） ◇保育サービスの安定的な提供の継続への補助 10園（価格高騰緊急支援事業 1,864千円） ◇子育てのための施設等利用等給付 8,720千円（補助実績：15施設、64人）												
	課題及び今後の取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。 令和4年4月に私立保育園2園が新規開園や、湖西市独自制度として令和5年9月から第2子保育料の無償化などから、保育ニーズが増加しており、待機児童・入所待ち児童対策のさらなる拡充が必要。 市内の民間保育園1園が令和6年度末に閉園を予定している。 待機児童・入所待ち児童対策・保育サービスの充実や、保育士の処遇改善は全国的な重要課題であることから、国の補助メニュー等を活用して事業・助成を継続していく。		評価	↑ 実 現 度 <table><tr><td>A</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4	A		☆☆	B			C	B
A		☆☆											
B													
C	B	A											

事業名		幼児教育指導関係経費		資料編	11頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます	
概要	個に合わせた指導を行い、幼児教育・保育の充実及び向上を図る。				
令和5年度目標	巡回相談12回、幼児教育相談10回				
令和5年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,267千円、幼児ことばの教室へ28人が通級 ◇特別支援教育推進事業 15,077千円、特別支援教育支援員を12人配置				
令和4年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,267千円、幼児ことばの教室へ21人が通級 ◇特別支援教育推進事業 14,827千円、特別支援教育支援員を12人配置				
課題及び今後の取り組み	特別支援員の支援スキルの向上及び巡回相談員の確保が課題である。 特別な支援を要することも増加傾向にあり、表れについても多種多様化しているため、事業の必要性は非常に高く、今後も継続していく。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		各幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費		資料編	20・21頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	4 基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます 7 保育環境の充実に努めます 8 魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます		
概要	公立幼稚園・こども園を適切に管理・運営する。				
令和5年度目標	一時預かり事業(在園児対象型) 延べ利用数6,665人(子ども・子育て支援事業計画：確保の内容)				
令和5年度実績等	◇公立幼稚園・こども園の園児数(令和5年5月1日現在) 幼稚園部299人、保育部197人 ◇公立幼稚園・こども園6園の管理運営費104,239千円及び共通経費73,978千円 ◇幼稚園研究指定事業 知波田幼稚園「友達と関わる楽しさを感じられる子の育成」 ◇幼稚園一時預かり事業 (開園日)延べ利用数5,152人、(長期休園日)延べ利用数762人 ◇幼稚園親子読書推進事業 86千円 ◇幼稚園教育振興事業 371千円 ※新所幼稚園は令和4年度末に閉園したが、令和5年度は施設管理を実施した。 ※公立保育所が皆減したため、令和5年度から公立こども園分について保育所総務費から移管				
令和4年度実績等	◇公立幼稚園の園児数(令和4年5月1日現在) 180人 ◇公立幼稚園4園の管理運営費15,925千円及び共通経費17,716千円 ◇幼稚園研究指定事業 新居幼稚園「自ら体を動かして遊ぶ子どもの育成」 ◇幼稚園一時預かり事業 (開園日)延べ利用数5,184人、(長期休園日)延べ利用数777人 ◇幼稚園親子読書推進事業 108千円 ◇幼稚園教育振興事業 341千円				
課題及び今後の取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。 令和2年4月に新居幼稚園が、令和3年4月に岡崎幼稚園が幼保連携型認定こども園へ移行したため、安定運営に注力する。 保育需要が高まる一方で幼稚園(部)への入園者は減少している。 令和5年3月に新所幼稚園を閉園し、令和6年4月にこども未来課へ移管した。 令和6年3月に白須賀幼稚園を閉園し、土地・建物の有効活用について調整中。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ 重要度→ ☆R5 ★R4

[スポーツ・生涯学習課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
25	社会教育総務関係経費	A	A	
25	生涯学習推進費	A	B	
26	西部地域センター管理運営費	B	A	
26	青少年健全育成費	A	B	
27	青少年健全・育成センター活動費	B	B	
27	北部地区多目的研修施設管理運営費	B	C	
27	南部地区構造改善センター管理運営費	B	B	
28	保健体育総務関係経費 (社会体育振興事業)	B	C	
28	保健体育総務関係経費 (健康づくり事業)	B	B	
29	社会体育施設維持管理費 (湖西運動公園外5施設維持管理)	A	B	
29	社会体育施設維持管理費 (複合運動施設管理運営)	A	B	
30	スポーツ活動推進及び大会運営費 (スポーツ普及推進及び育成事業)	B	C	
30	スポーツ活動推進及び大会運営費 (ジュニアスポーツ育成事業)	B	B	
30	スポーツ活動推進及び大会運営費 (高齢者の健康生きがいづくり事業)	B	C	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (学校体育施設開放事業)	A	A	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (静岡県市町対抗駅伝競走大会)	B	A	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (KOSAIリレーマラソン)	B	B	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (室内棒高跳記録会)	B	C	

事業名		社会教育総務関係経費		資料編	22頁														
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します																
			17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します																
概要	社会教育推進のため、家庭教育の充実に向けて、ふたば学級・家庭教育学級・子育て講演会等の充実に努めます。社会教育委員、生涯学習推進協議会委員及び社会教育指導員を置く。																		
令和5年度目標	社会教育委員会の開催：3回開催 社会教育指導員設置事業：3人設置																		
令和5年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員3人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイアルなどを担当）																		
令和4年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員4人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイアルなどを担当）																		
課題及び今後の取り組み	社会教育の振興をはかるため、高い識見と専門性を持つ者を社会教育指導員として配置する。 湖西市生涯学習推進計画を総合的かつ効果的に推進するために、社会教育委員や生涯学習推進協議会委員より意見を徴収し、施策に反映していく。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆R5 ★R4</td></tr></table>	↑ 実現度	A		★☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			
↑ 実現度	A		★☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R5 ★R4																			
事業名		生涯学習推進費		資料編	23～25頁														
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します																
			15 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります																
			17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します																
概要	わくわく子ども教室・学校支援地域本部事業等を充実させ、地域連携と教育力の向上を図ります。家庭教育、生涯学習の重要性から、各年代層に学習の機会を提供する。																		
令和5年度目標	家庭教育サポート事業：講座参加人数 800人 青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,000人 高齢者教育の推進事業：参加者数 250人 生涯学習の推進：達人登録人数 200人 おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 2,000人 わくわく子ども教室推進事業：教室申込者数 180人 学校支援本部事業：支援本部設置数 11校																		
令和5年度実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 730人 (ふたば学級66人、家庭教育学級92人、教育講演会572人) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 1,503人 (親子体験教室436人、科学の体験743人、コーちゃんフェスタ324人) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学参加者数 125人 ◇生涯学習の推進：達人登録人数 124人、生涯学習講座(生涯学習係)8講座 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 84件、1,569人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 170人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を9校設置。(白須賀小、知波田小、東小、新居小、岡崎小、白須賀中、湖西中、鷺津中、新居中)																		
令和4年度実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 577人 (ふたば学級61人、家庭教育学級56人、教育講演会460人) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 1,881人 (親子体験教室485人、ものづくり体験事業310人、科学の体験850人、コーちゃんフェスタ236人) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学参加者数 104人 ◇生涯学習の推進：達人登録人数 129人、生涯学習講座(生涯学習係)9講座、子ども講座1講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 113件、2,576人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 172人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を8校設置。(白須賀小、知波田小、東小、新居小、白須賀中、湖西中、鷺津中、新居中)																		
課題及び今後の取り組み	ふたば学級や家庭教育学級、わくわく子ども教室の参加者を確保するよう、実施内容等の見直しを検討する。 湖西市生涯学習推進計画に基づき、ライフステージに応じた事業を展開する。 市内全地区での事業展開を継続する。(ふたば学級、家庭教育学級、寿大学など)			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実現度</td><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆R5 ★R4</td></tr></table>	↑ 実現度	A		★☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			
↑ 実現度	A		★☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R5 ★R4																			

事業名		西部地域センター管理運営費		資料編	25頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します											
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 西部地域センターの施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。													
令和5年度目標	利用者数 30,000人													
令和5年度実績等	◇施設管理業務：利用者数 35,415人 ◇生涯学習講座8講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつり開催：11月19日（日）屋内外での合唱や演奏、演技発表、作品展示、湯茶等の体験を行った。													
令和4年度実績等	◇施設管理業務：利用者数 28,282人 ◇生涯学習講座9講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止													
課題及び今後の取り組み	施設の老朽化（昭和60年度建設）により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。 利用拡大を周知し、一層の利用者数の増加に努める。		評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td>☆</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ★R5 ★R4	A	☆		B	★		C	B	A
A	☆													
B	★													
C	B	A												
事業名		青少年健全育成費		資料編	26頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します											
概要	・青少年健全育成大会や青少年教育推進事業を通して青少年の健全な育成に努めます ・明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年健全育成の推進を図ります 青少年の健全な育成を図るため、健全育成大会の開催や子ども会等の青少年育成団体を支援する。													
令和5年度目標	青少年健全育成事業：「家庭の日」作品応募数 800点 はたちの集い開催事業：参加率 85%													
令和5年度実績等	◇青少年問題協議会：6月22日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月4日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。参加者48人。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数744点。 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会、子ども会など団体活動を支援した。 ◇はたちの集い開催事業：1月7日 アメニティプラザで実施し、470人参加。（参加率78.6%）													
令和4年度実績等	◇青少年問題協議会：6月13日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月5日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。参加者64人。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数502点。 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会、子ども会など団体活動を支援した。 ◇はたちの集い開催事業：1月8日 アメニティプラザで実施し、495人参加。（参加率84.0%）													
課題及び今後の取り組み	社会全体で青少年を育成しようと機運を高め、事業を継続する。		評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ★R5 ★R4	A			B		★☆	C	B	A
A														
B		★☆												
C	B	A												

事業名		青少年健全・育成センター活動費		資料編	27頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します		
概要	明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年の健全育成の推進を図ります 青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動等の青少年非行防止活動を行う。				
令和5年度目標	補導実施回数 140回				
令和5年度実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 103回 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 11件				
令和4年度実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 91回 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 8件				
課題及び今後の取り組み	2年ごとに地区で補導員を選出されるが、選出が難航する地区がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A 重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		北部地区多目的研修施設管理運営費		資料編	31頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します		
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 北部地区多目的研修集会施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。				
令和5年度目標	利用者数 11,000人				
令和5年度実績等	◇施設の維持管理：利用者数 9,077人 ◇生涯学習講座7講座と子ども講座1講座を開催した。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは開催せず、知波田幼稚園児の作品展示会を開催した。				
令和4年度実績等	◇施設の維持管理：利用者数 7,436人 ◇生涯学習講座5講座と子ども講座1講座を開催した。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
課題及び今後の取り組み	施設の老朽化（昭和56年度建設）により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A 重要度→ ☆R5 ★R4
事業名		南部地区構造改善センター管理運営費		資料編	31頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します		
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 南部構造改善センターの維持管理と各種講座、まつりの開催。				
令和5年度目標	利用者数 11,000人				
令和5年度実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 10,949人 ◇生涯学習講座7講座を開催した。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは開催せず、利用団体の作品展示会を開催した。				
令和4年度実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 7,972人 ◇生涯学習講座10講座と子ども講座1講座を開催した。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
課題及び今後の取り組み	施設の老朽化（平成6年度建設）により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A 重要度→ ☆R5 ★R4

事業名		保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）			資料編	34頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します			
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員会を中心として各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。					
令和5年度目標	ニュースポーツ参加人数 500人					
令和5年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 279人					
令和4年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 449人					
課題及び今後の取り組み	過去からの課題であったニュースポーツ講習会等の参加者が固定化傾向を解消及びスポーツ推進委員の負担軽減も考慮すべく、平日夜から休日に日程を変更し、回数も減らし、実施した。 今後もスポーツ推進委員の負担軽減も考慮しながら、活動の充実を図るため、各種スポーツ活動についてスポーツ推進委員で企画検討し、開催方法等について今後も検討していく。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ B A 重要度→ ☆R5 ★R4	
事業名		保健体育総務関係経費（健康づくり事業）			資料編	34頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します			
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、市民の心身の健全な発達と明るい市民生活の形成に寄与することを目的に、湖西市の実情に即した推進計画を策定し、推進する。					
令和5年度目標	健康づくり事業として、多数の方に参加してもらえる他団体とも協力いただきながら実施する。					
令和5年度実績等	◇地元自治会や保健推進委員に協力していただき、多数の地域住民に参加いただいた。					
令和4年度実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかったため、看板設置等は実施できなかったが、ウォーキングコースの見直しを行った。（当日は天候不順のため実施には至らなかった。）					
課題及び今後の取り組み	健康づくり事業の一環として、手軽にできる運動がしやすい環境づくりに努める。 今後引き続き、各地域で安心して手軽にできるウォーキングや散歩のモデルコースとしてスポーツ推進委員と企画検討していく。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ B A 重要度→ ☆R5 ★R4	

事業名		社会体育施設維持管理費（湖西運動公園外5施設維持管理）			資料編	35頁				
基本目標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。		方針	25 スポーツ環境を整備します					
概要		豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、湖西運動公園・梶田多目的運動広場・北部地区運動広場・みなと運動公園・新居スポーツ広場公園・勤労者体育センターの利用者が快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設の維持管理を行う。								
令和5年度目標		湖西運動公園外5施設年間利用目標：205,000人								
実績等		湖西運動公園等		令和4年度年間利用者数	令和5年度年間利用者数					
		湖西運動公園		40,345人	39,684人					
		梶田多目的運動広場		1,668人	1,608人					
		北部地区運動広場		6,475人	5,349人					
		合計		48,488人	46,641人					
		みなと運動公園		令和4年度年間利用者数	令和5年度年間利用者数					
		野球場		3,678人	3,370人					
		多目的広場		8,476人	8,196人					
		合計		12,154人	11,566人					
		新居スポーツ広場公園		令和4年度年間利用者数	令和5年度年間利用者数					
		体育館		58,367人	61,138人					
		庭球場		1,683人	4,385人					
		弓道場		1,869人	1,793人					
		合計		61,919人	67,316人					
		勤労者体育センター		令和4年度年間利用者数	令和5年度年間利用者数					
		体育室		27,285人	31,908人					
		卓球室		5,038人	4,396人					
		トレーニング室		2,678人	2,936人					
		合計		35,001人	39,240人					
		課題及び今後の取り組み		指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。				評価	↑ 実現度	A
				B		★☆				
				C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			
事業名		社会体育施設維持管理費（複合運動施設管理運営）			資料編	36頁				
基本目標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。		方針	25 スポーツ環境を整備します					
概要		豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、アメニティプラザの利用者が、快適かつ安全に競技できるよう指定管理者による施設管理を行う。								
令和5年度目標		アメニティプラザ年間利用者目標：290,000人								
実績等		施設名		令和4年度年間利用者数	令和5年度年間利用者数					
		温水レジャープール		88,558人	73,316人					
		浴室		48,054人	30,208人					
		トレーニングルーム		15,372人	15,957人					
		メインアリーナ		35,517人	38,307人					
		サブアリーナ		16,261人	14,836人					
		スタジオ		8,589人	10,086人					
		合計		212,351人	182,710人					
課題及び今後の取り組み		指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。				評価	↑ 実現度	A		
				B				☆☆		
				C	B	A	重要度→ ☆R5 ★R4			

事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（スポーツ普及推進及び育成事業）			資料編	37頁									
基本目標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します											
概要		豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市民のスポーツ活動を推進し、競技力の向上と健康増進を図るため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催など各種事業を行う。													
令和5年度目標		スポーツ教室及びスポーツ大会参加者目標：3,000人													
令和5年度実績等		◇スポーツ教室 ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 95回 総参加者数 1,028人 ◇各種スポーツ大会 バレーボール、野球等 14大会 総参加者数 2,184人 ◇スポーツ少年団派遣事業 7競技 派遣回数14回													
令和4年度実績等		◇スポーツ教室 ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 91回 総参加者数 1,175人 ◇各種スポーツ大会 バレーボール、野球、卓球等 5大会 総参加者数 1,955人 ◇スポーツ少年団派遣事業 6競技 派遣回数16回													
課題及び今後の取り組み		参加者アンケートや関係団体との意見交換等を参考に、ニーズにあった種目、大会を実施する。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4		A			B			C	★☆	A
A															
B															
C	★☆	A													

事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（ジュニアスポーツ育成事業）			資料編	37頁									
基本目標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します											
概要		豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、中学生の競技力向上のため、ジュニアスポーツクラブを育成する。													
令和5年度目標		生徒参加者目標：200人													
令和5年度実績等		◇実施種目 野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上競技、バレーボール、バスケットボール 参加者数 229人													
令和4年度実績等		◇実施種目 野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離、バレーボール 参加者数 195人													
課題及び今後の取り組み		学校の部活動と連絡・調整を行い、今後も活動を継続する。他の新種目の指導者の発掘及びスポーツ人口減少問題が課題。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>☆☆</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4		A			B	☆☆		C	B	A
A															
B	☆☆														
C	B	A													

事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（高齢者の健康生きがいづくり事業）			資料編	39頁									
基本目標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します											
概要		豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、高齢者の方々が心と体を健康に保つために、スポーツに親しむ場を提供する。													
令和5年度目標		大会参加者目標：1,000人													
令和5年度実績等		◇スポーツ大会開催種目 ペタンク、ラージボール、グランドゴルフ、輪投げ、 大会回数 年9回 総参加者数 962人													
令和4年度実績等		◇スポーツ大会開催種目 ペタンク、ラージボール、グランドゴルフ 大会回数 年5回 総参加者数 500人													
課題及び今後の取り組み		天候に左右されやすい種目は開催時期の変更もしくは回数を減らすことも検討する。開催方法等について今後も関係団体と連携し検討していく。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4		A			B			C	★☆	A
A															
B															
C	★☆	A													

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（学校体育施設開放事業）			資料編	38頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市内小中学校体育施設を開放することにより、市民がスポーツを通じて交流する場を提供する。					
令和5年度目標	学校体育施設利用者目標：105,000人					
実績等	施設名	令和4年度		令和5年度		
		延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数	
		小・中学校運動場	673回	29,886人	467回	24,384人
		小・中学校体育館	2,063回	57,514人	2,150回	58,922人
		小・中学校武道場	930回	16,672人	948回	16,858人
		小・中学校クラブハウス	0回	0人	16回	808人
		合計	3,666回	104,072人	3,581回	100,972人
課題及び今後の取り組み	公共施設予約システムでの予約受付等は浸透しているが、利用者の減少が続いている。 今後も、利用者の増加に努めていく。			評価	↑ 実現度 A B C 重要度→ ★R5 ★R4	
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）			資料編	39頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市町対抗駅伝に出場し、競技力の向上を図る。					
令和5年度目標	市の部10位以内入賞をめざす。					
令和5年度実績等	◇開催日	12月2日（土）				
	◇成績	市の部 6位				
令和4年度実績等	◇開催日	12月3日（土）				
	◇成績	市の部 8位				
課題及び今後の取り組み	優秀な競技者の発掘、競技力の向上に努力する。 小中学生の走力向上に取り組み、好成績を維持する。			評価	↑ 実現度 A B C 重要度→ ★R5 ★R4	
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（KOSAIリレーマラソン）			資料編	39頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、大会を開催し、競技力の向上を図る。令和3年度から、リレーマラソン方式を採用し、開催した。					
令和5年度目標	大会参加チーム目標：100チーム					
令和5年度実績等	◇開催日	1月14日（日）				
	◇参加数	49チーム				
令和4年度実績等	◇開催日	1月15日（日）				
	◇参加数	63チーム				
課題及び今後の取り組み	以前実施していた駅伝大会は、一般道路を使っての競技になるので、渋滞等の苦情が多いこと、また、事故が起きないように運営することが課題であり、令和3年度から「コーちゃんリレーマラソン」を令和4年度は「KOSAIリレーマラソン」と名称を変更し開催した。また、参加資格を小学生以上とし、性別、年齢に関係なくチームを組めるため、参加しやすく楽しめる大会となった。 今後は、関係団体と連携のうえ大会継続のための運営方法等を検討していく。			評価	↑ 実現度 A B C 重要度→ ★R5 ★R4	

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（室内棒高跳記録会）				資料編	-																																		
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。		方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																																				
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、近隣の中高生・一般選手の棒高跳競技の強化を目的とし、自己記録及び新記録樹立をめざす場を提供する。																																							
令和5年度目標	記録会参加者目標：120人																																							
実績等	<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">令和4年度 記録会</th><th colspan="3">令和5年度 記録会</th></tr><tr><th>開催日</th><th>対象</th><th>参加者数</th><th>開催日</th><th>対象</th><th>参加者数</th></tr><tr><td></td><td>2/11</td><td>中学 男女</td><td>28人</td><td>2/10</td><td>中学 男女</td><td>39人</td></tr><tr><td></td><td>2/11</td><td>一般、高校 男女</td><td>34人</td><td>2/11</td><td>一般、高校 男女</td><td>58人</td></tr><tr><td colspan="3">計</td><td>62人</td><td colspan="2">計</td><td>97人</td></tr></table>						区分	令和4年度 記録会			令和5年度 記録会			開催日	対象	参加者数	開催日	対象	参加者数		2/11	中学 男女	28人	2/10	中学 男女	39人		2/11	一般、高校 男女	34人	2/11	一般、高校 男女	58人	計			62人	計		97人
区分	令和4年度 記録会			令和5年度 記録会																																				
	開催日	対象	参加者数	開催日	対象	参加者数																																		
	2/11	中学 男女	28人	2/10	中学 男女	39人																																		
	2/11	一般、高校 男女	34人	2/11	一般、高校 男女	58人																																		
計			62人	計		97人																																		
課題及び今後の取り組み	今後も静岡西部陸上競技協会が主催者となった記録会を継続するとともに、静岡県西部の中高校生、一般選手の強化育成を目的とし、自己記録の更新を目指す場を提供する。				評価	<table><tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>★☆☆ B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆R5 ★R4	↑	A				B				C	★☆☆ B	A																						
↑	A																																							
	B																																							
	C	★☆☆ B	A																																					

[文化観光課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
34	文化振興関係経費	B	C	
34	文化財保護保存費	A	C	
35	白須賀宿歴史拠点施設管理運営費	B	A	
35	新居関所史料館管理運営費	B	A	
36	紀伊国屋資料館管理運営費	B	A	
36	小松楼まちづくり交流館管理運営費	B	A	

事業名		文化振興関係経費			資料編	28頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	21 文化芸術を推進します			
概要	文化芸術の鑑賞機会の提供および市民の文化芸術活動の支援を行う。					
令和5年度目標	市民芸術祭1日あたり平均入場者数450人					
令和5年度実績等	◇芸術文化振興事業：芸術祭1日あたり平均入場者数396人(春季芸能祭600人、文化の祭典757人、美術祭2,704人、合唱の祭典300人)、市民文芸第14号発行					
令和4年度実績等	◇芸術文化振興事業：芸術祭1日あたり平均入場者数470人(春季芸能祭1,100人、文化の祭典1,147人、秋季芸能祭600人、美術祭2,795人)、市民文芸第13号発行					
課題及び今後の取り組み	文化協会会員数は、若年層の伝統文化部会への参加が減少傾向にあり、芸術祭の参加者も固定化している。新しい文化を取り込みながら、伝統文化を保持するような時代に合わせた芸術祭を開催し、文化芸術活動を活性化させる必要がある。 またR6はピアノリサイタルを開催し、芸術文化の鑑賞の機会拡大を行う予定。	評価	↑ 実現度	A	★	
				B		
				C	☆	A
				重要度→ ☆R5 ★R4		
事業名		文化財保護保存費			資料編	29頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します			
概要	指定文化財の保護保存活用に努めるとともに、誰もが資料を利用できる環境の充実を図る。					
令和5年度目標	指定文化財のき損届・損傷届件数0件（R5実績1件）					
令和5年度実績等	◇文化財保護審議会：令和6年1月16日開催 指定候補物件（横枕古墳）1件の諮問答申。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財消防設備保守3件、無形民俗文化財公開1件、無形民俗文化財用具修理1件、建造物1件、史跡2件を補助した。 ◇市内遺跡発掘調査事業：古見古窯跡群遺跡の発掘調査報告書を刊行した。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈り、ハチの巣駆除を実施し保存管理と公開に努めた。 10月21日現地説明会を開催。 ◇新居関跡保存整備事業：新居関跡保存活用計画策定委員会を3回開催し、計画を策定した。 ◇古文書整理事業：静岡文化芸術大学と新居関所史料館所蔵文書の整理をした。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月22日に一般公開した。また出前講座を6回開催した。					
令和4年度実績等	◇文化財保護審議会：令和4年12月9日開催 指定文化財の現状報告、指定候補物件の検討。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財消防設備保守3件、無形民俗文化財公開1件、天然記念物1件、史跡2件を補助した。 ◇市内遺跡発掘調査事業：古見古窯跡群遺跡から出土した遺物整理を実施した。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し保存管理に努めたが、遺構のき損が確認された。 ◇新居関跡保存整備事業：新居関跡保存活用計画策定委員会を3回開催し、計画を策定中。 ◇古文書整理事業：静岡文化芸術大学と新居関所史料館所蔵文書と新居町近代役場文書の整理をした。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月29日に一般公開した。また出前講座を6回開催した。					
課題及び今後の取り組み	無形民俗文化財の断絶や有形文化財のき損、散逸を防ぐため、文化財保存活用地域計画の策定を進め、地域総がかりでの文化財保存体制の構築に努める必要がある。 誰もが利用しやすいように、発掘調査出土遺物や民俗資料、古文書史料の整理活用を行う。 大規模造成により開発行為の増加が予想されるため、遺跡の保存を適切に行う。 民具倉庫の一部が老朽化しており、北部倉庫への収蔵集約を検討中。 新居関跡保存整備は、史跡保存活用計画に基づき確実な保護保存を行う。	評価	↑ 実現度	A		
				B		
				C	B	A★☆
				重要度→ ☆R5 ★R4		

事業名		白須賀宿歴史拠点施設管理運営費			資料編	29頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します				
概要	白須賀宿や歴史と文化を広めるとともに、資料の保存と活用を図るため、白須賀宿歴史拠点施設の運営管理と各種事業を行う。						
令和5年度目標	再発見事業などの展開により、年間入館者数4,000人をめざす。						
令和5年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 4,096人 ◇白須賀宿再発見事業：愛LOVEウォークin白須賀参加者142人						
令和4年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 3,129人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（雨天のため中止）						
課題及び今後の取り組み	開館から20年が経過しており、展示内容の見直しを行う必要がある。また公共施設再配置個別計画に基づき、機能移転場所を検討していく。 施設の管理や再発見事業を委託している運営協議会の会員が高齢化しており、今後再発見事業の活動を支える人材確保が必要。	評価	↑ 実現度	A	☆		
				B			
				C	★ B	A	
				重要度→ ☆R5 ★R4			
事業名		新居関所史料館管理運営費			資料編	30頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します				
概要	国特別史跡新居関跡の保存に努めるとともに、新居関所に関する歴史資料の保存と活用を図るため、新居関所史料館の運営管理と各種事業を行う。						
令和5年度目標	保存整備事業の成果を利用して、入場者数17,000人をめざす。						
令和5年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 18,652人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和6年1月16日開催 ◇展示活動：企画展6回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数350人 ◇学習プラン利用団体 11件414人						
令和4年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 16,728人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和4年12月9日開催 ◇展示活動：企画展5回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数249人 ◇学習プラン利用団体 11件613人						
課題及び今後の取り組み	社会教育施設として、歴史や文化財の理解を深めるイベントの実施や、魅力ある企画展示の開催などによって親しみやすい運営に努め、特に子どもの入館者や学校教育での利用の増加につなげる。	評価	↑ 実現度	A	★☆		
				B			
				C		A	
				重要度→ ☆R5 ★R4			

事業名		紀伊国屋資料館管理運営費			資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します			
概要	市指定の旅籠紀伊国屋の保存に努めるとともに、江戸時代の旅籠に関する歴史資料の保存と活用を図るため、紀伊国屋資料館の管理と運営を行う。					
令和5年度目標	新居関所史料館との連携で入館者数9,800人をめざす。					
令和5年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 9,918人 ◇展示活動：おひなさま展、富士山を描いた絵画展、新居町の草花絵画と写真展 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数302人					
令和4年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 9,674人 ◇展示活動：おひなさま展 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数169人					
課題及び今後の取り組み	市指定有形文化財としての保存に努めるとともに、地域イベントなどにも協力し活用を図る。 新居関所や小松楼まちづくり交流館と連携した事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ A 重要度→ ☆R5★R4	
事業名		小松楼まちづくり交流館管理運営費			資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します			
概要	国登録文化財の小松楼の保存に努めるとともに、地域振興並びに新居関所周辺の観光振興及び文化振興を図るため、小松楼まちづくり交流館の管理と運営を行う。					
令和5年度目標	周辺施設や地域団体と連携して、入館者数9,000人を目指す。					
令和5年度実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 9,136人 ◇活動：遊楽舎講座、ギャラリー展示開催などの指定管理自主事業開催					
令和4年度実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 8,526人 ◇活動：遊楽舎講座、ギャラリー展示開催などの指定管理自主事業開催					
課題及び今後の取り組み	新居関所や紀伊国屋資料館と連携し、新居関所周辺で滞在できる事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ A 重要度→ ☆R5★R4	

[図書館事業評価の概要]

頁	事業名	令和5年度評価		備 考
		重要度	実現度	
38	中央図書館運営事業	A	B	
38	新居図書館運営事業	A	B	
39	図書館活動推進事業	A	A	

事業名		中央図書館運営事業			資料編	32頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます。	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます。											
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実を図る。														
令和5年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊														
令和5年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.3冊 ◇入館者数 111,833人 ◇貸出点数 224,495点（一般書 95,484 児童書 103,358 雑誌 14,328 視聴覚資料 11,325） ◇購入状況 5,021点（図書 3,893 雑誌 1,054（76誌） 視聴覚資料 74 新聞 10紙） ◇所蔵状況 171,372点（一般書 109,585 児童書 54,446 雑誌 3,935 視聴覚資料 3,406） ◇登録者数 24,769人 ◇電子図書館 利用回数 12,550回 貸出点数 6,407点 電子書籍数 3,301点														
令和4年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.5冊 ◇入館者数 116,792人 ◇貸出点数 242,504点（一般書 101,241 児童書 113,896 雑誌 14,777 視聴覚資料 12,590） ◇購入状況 5,166点（図書 4,055 雑誌 1,031（74誌） 視聴覚資料 80 新聞 10紙） ◇所蔵状況 173,601点（一般書 111,076 児童書 54,965 雑誌 4,236 視聴覚資料 3,324） ◇登録者数 22,995人 ◇電子図書館 利用回数 3,267回 貸出点数 1,586点 電子書籍数 2,143点														
課題及び今後の取り組み	電子図書館を積極的にPRし、利用者拡大を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4	A			B		☆☆	C	B	A
A															
B		☆☆													
C	B	A													
事業名		新居図書館運営事業			資料編	33頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます。	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます。											
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実を図る。														
令和5年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊														
令和5年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.3冊 ◇入館者数 69,343人 ◇貸出点数 101,842点（一般書 42,258 児童書 47,165 雑誌 5,439 視聴覚資料 6,980） ◇購入状況 2,411点（図書 1,758 雑誌 605（54誌） 視聴覚資料 48 新聞 6紙） ◇所蔵状況 110,355点（一般書 71,381 児童書 33,092 雑誌 3,610 視聴覚資料 2,272）														
令和4年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.5冊 ◇入館者数 67,715人 ◇貸出点数 104,889点（一般書 41,998 児童書 50,065 雑誌 5,393 視聴覚資料 7,433） ◇購入状況 2,373点（図書 1,721 雑誌 605（53誌） 視聴覚資料 47 新聞 6紙） ◇所蔵状況 110,777点（一般書 71,788 児童書 33,043 雑誌 3,537 視聴覚資料 2,409）														
課題及び今後の取り組み	電子図書館を積極的にPRし、利用者拡大を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆R5 ★R4	A			B		☆☆	C	B	A
A															
B		☆☆													
C	B	A													

事業名		図書館活動推進事業		資料編	33頁			
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます。	方針	23 読書活動を推進します。					
概要	学習活動環境の充実 図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。							
令和5年度目標	イベント参加人数 6,300人							
令和5年度実績等	◇ブックスタート事業（24回開催）		195人					
	◇おはなし会（99回開催）		1,495人					
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）		4,831人					
					参加者数合計 6,521人			
令和4年度実績等	◇ブックスタート事業（24回開催）		193人					
	◇おはなし会（105回開催）		1,804人					
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）		4,235人					
					参加者数合計 6,232人			
課題及び今後の取り組み	引き続き感染対策を施し、各種イベントを積極的に実施する。第3次子ども読書活動推進計画に基づいた取り組みを進める。ボランティアの確保と育成を引き続き行う。			評価	↑ 実現度	A		☆☆
						B		
						C	B	A
							重要度→ ☆R5 ★R4	

Ⅲ 外部評価委員（学識経験者）の意見

湖西市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者による知見の活用は、教育に関し学識経験を有する方に依頼した。

外部評価委員の方々のお名前及び主な御意見、御助言は、次のとおりである。

外部評価委員名簿

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
加々谷 香	スポーツ推進委員
佐 原 陽 子	教育委員経験者
竹 島 清 一	学校運営協議会委員代表
永 田 晴 康	令和6年度小中学校PTA連絡協議会長
吉 原 靖 則	学校長経験者

外部評価委員会実施日

- ・ 令和6年10月22日（火）
- ・ 令和6年11月26日（火）

<自己点検・評価報告書全体>

○市の歳出総額において、教育費の割合が年々高くなっていることに教育行政の重要性を感じます。

○各課とも計画的かつ効果的に予算が使われていると思います。報告書もわかりやすく記載されています。

○数多くの事業を開催しているのに、市民に十分に伝わっていない部分もあるのではないのでしょうか。周知についてご一考いただければと思います。

<P11 豊田佐吉翁記念奨学金事業>

○事業の目的に鑑み、制度を必要とする学生を育み、社会に必要とされる人材を育成するために事業の継続をお願いします。

○令和5年度に実施したOBOG会は素晴らしい取り組みです。今後も継続していただきたいと思います。

<P12 育英奨学資金貸付事業>

○貸付型奨学金としての在り方、制度内容の見直し、周知方法など検討し

ていただきたいと思います。

＜P 12 教育施設整備費＞

○学校給食センターの整備をしっかりと進めていただきたいと思います。

○学校再編問題については、地域住民と十分に話し合っていただきたいと思います。

＜P 13 教育施設管理費＞

○学校施設の修繕については、緊急性、安全性、学校運営に配慮したうえで迅速に対応していただくようお願いします。

＜P 13 各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費＞

○連絡アプリ導入により、学校と保護者間の連絡が非常に便利になりました。学年便り、休校連絡の配信や欠席連絡など、保護者の立場もそうですが、教職員の負担軽減にも寄与している現状がよく分かりました。

○1人1台タブレットの更新を滞りなく進めていただきたいと思います。

○ITC支援員の配置拡大はありがたいことです。教職員のサポートにつながるとよいと思います。体育館のWi-Fi整備も進んでいると聞いて安心しました。

○1人1台タブレットの活用実態がよく分かりました。こうした事例を各学校が共有して、さらに活用していただきたいと思います。また、授業以外にも健康観察ツールとしても運用されているとのことで、こうした取り組みからいじめの早期発見、対応につながっていけばと思います。

＜P 14 小学校施設整備費＞

○小学校トイレの洋式化は、令和2年度の状況からかなり改善されたことがわかりました。今後も計画どおり整備されていくことを期待します。

＜P 14・15 教育扶助費＞

○対象者が多いことに驚きました。家庭の事情は様々だと思いますが、子ども達の「学びたい」という思いが閉ざされないよう、扶助費を含めた取り組みの継続は必要だと思います。

＜P18 教育指導関係経費＞

○教員不足は全国的に問題になっており、湖西市内でも同じような傾向がみられます。教員の配置には限度があるため、外国人児童生徒支援事業や特別支援教育推進事業では、教育支援員の存在が必要不可欠であり、更なる増員に尽力していただきたいと思います。

○外国人児童対象の防災意識向上のための防災講座を開催してはどうでしょうか。

＜P19 指導資料作成事業費＞

○小学校副読本「わたしたちの湖西」は、指導資料として画像や絵図が多く工夫されています。その分、教職員にかかる負担が大きくなりたくないよう、改定委員会の運営方法、日程の組み方等分かる範囲で具体的に示されるとよいと思います。

○一部の学校ホームページで、校区の民話や史跡、地名の由来等が掲載されています。地域のことを知るという意味で大変よいことだと思うので、小学校区ごとに取り組んでみたらどうでしょうか。

＜P22 民間保育所等助成事業費＞

○民間保育所等の増加で待機児童数0人はよいことです。一方で、市の財政負担増加が課題のようですが、継続できるよう尽力していただきたいと思います。

＜P23 幼稚園教育指導関係経費＞

○課題にも記載されていますが、特別支援教育支援員のスキル向上、増員が図られるとよいと思います。また、幼児教育だけでなく、小中学校でも進めていただきたいと思います。

＜P25 生涯学習推進費＞

○学校支援本部事業の設置実績が9校となり、令和4年度より1校増えました。残りの学校にもコーディネーターが設置できるようお願いします。

○わくわく子ども教室の参加者確保のための工夫は大事だと思います。そして、各子ども教室のスタッフ不足や今後のスタッフ確保という問題も今考えていかなければならないと思います。

<P 26 青少年健全育成費>

○少子化問題、また、コロナ禍以降、子ども会活動の衰退が著しく、行事参加の減少や各地区子ども会の解散などが懸念されます。

<P 28 保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）>

○ニュースポーツの参加人数が半分になっていることやスポーツ教室の参加人数も目標を達成していません。もっと新しい何か（例えばeスポーツとか）を考える時ではないでしょうか。

○ニュースポーツの種目を広めることだけでなく、ニュースポーツを通じて市民が健康で楽しく、生きがいを持つことを手伝いたく活動に従事しています。同じ考え方の団体と協力し、連携をとっていけばより良い活動になると思います。

<P 29 社会体育施設維持管理費>

○コロナ禍の影響がほぼなくなってきましたが、施設の利用者数が減少傾向にあるのが気になります。新居スポーツ広場公園庭球場のように、改修したことで利用者が増加している事例もあります。今後も施設の維持と計画的な改修に尽力していただきたいと思います。

<P 30～ スポーツ活動推進及び大会運営費>

○小学校の部活動がなくなり、子ども達が運動に親しむ機会が減っているように感じます。地域のスポーツ少年団活動のように長年継続され、運動の楽しさが味わえる機会があるといいと思います。

○湖西市在住、出身の優秀な競技者や指導者を新聞や「広報こさい」などの媒体で積極的に紹介をしていただきたいと思います。

○ジュニアスポーツと中学校部活動との兼ね合いがよくわかりません。部活動にない競技をジュニアスポーツで体験することは理解できますが、同種目同士はどのような位置づけなのでしょう。

<P 34 文化振興関係経費>

○演劇やコンサートが開催できる施設が限られているので、新居地域センターの改修を機に活用方法の再考をお願いします。

○文化芸術鑑賞機会の提供として、市民自身による芸術祭の発表だけでなく、演劇、音楽など子ども達が市内で鑑賞できる機会を作ってほしいと

思います。フルコンサートピアノをもっと活用してください。

<P34 文化財保護保存費>

○新居関所保存整備について、令和16年度まで計画策定されていると思いますが、新たな復元を含めた整備の予定を知りたいです。

<P38 図書館運営事業>

○学校図書室とのより具体的な連携・支援の充実を望みます。

○電子図書館の利用回数が年々増加しています。今後も電子書籍数を増やし、積極的な周知を継続していただきたいと思います。

○多文化サービス拡大のため外国資料を充実させるとのことですが、実際に外国籍の人がどのくらい図書館を利用し、貸出カードを作っているのでしょうか。そうした方々の日本語力向上を支援する場としての役割を図書館が担えるのではないのでしょうか。

IV 総合評価

第2次湖西市教育振興基本計画の基本目標と方針に基づき実施した令和5年度の教育委員会事業について、各事業の自己点検評価を行い、外部評価委員に評価していただきました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたことに伴い、多くの事業がコロナ禍前の水準で実施できるようになり、参加者も戻りつつあります。コロナをきっかけに事業の在り方や実施方法が見直された事業もあり、各課創意工夫のもと、教育行政の課題解決に向けて取り組んでまいりました。こうした姿勢を評価していただき、さらなる充実と推進のための多くの御意見、御助言をいただきました。

全般に計画的かつ効果的に事業が実施され、予算が執行されたと評価をいただいた一方で、教育施設利用者の減少、事業の周知不足などの指摘や、教育支援員の確保、文化芸術振興などの要望をいただきました。これらの御意見を真摯に受けとめ、改善を図り、事業に反映させてまいります。今後も、GIGAスクール構想の充実、学校給食センターの整備、学校再編、待機児童対策など様々な課題に取り組むにあたり、教育委員会内はもとより、市長部局とも連携し、横断的に事業展開をしていく必要があります。評価で得られた外部の知見とともに、この点検・評価結果を活かし、第2次湖西市教育振興基本計画の基本理念である「未来の湖西を創る“ひと”づくり」に邁進してまいります。

今回の評価結果を公表し、今後も教育委員会事業に関する積極的な情報公開と説明責任を果たすことに努めてまいります。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和5年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を報告するものである。

令和6年12月

湖西市教育委員会 教育長 松山 淳